

(13) 住居の構造

- 2つ以上の構造を組み合わせた住居の場合は、延べ床面積の広い方の構造を記入してください。

(14) 住居の延べ床面積

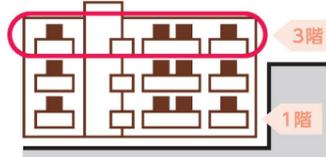
- アパートやマンションなどの共同住宅の場合は、共用部分は含めず、専用部分のみの面積を記入してください。
- 店舗などの併用住宅の場合は、業務用部分を含めた面積を記入してください。
- 住居に附属する離れの面積も含めてください。
- 間貸ししている部分がある場合は、その分を含めた面積を記入してください。
- 間借りしている場合は、借りている部分の面積を記入してください。
- 1住宅に2世帯以上が住んでいるような場合は、1世帯当たりの居住面積を記入してください。
- 寮・寄宿舎等に住んでいる単身世帯で、同室者がいる場合は、1人当たりの居住面積を記入してください。

住居の延べ床面積—うち業務用面積

- 店舗などの併用住宅の場合に、業務用部分のみの面積を記入してください。

(15) 住居の建て方—共同住宅の階数について

- 中2階などは2階としてください。
- 土地に傾斜又は段差がある場合は、土地が低い方を1階と数えてください。



(16) 住居の所有関係—都市再生機構 (UR) の賃貸住宅

- 都市再生機構 (UR) の賃貸住宅とは、いわゆる旧公団 (住宅・都市整備公団、都市基盤整備公団) の賃貸住宅をいいます。

(20) 現住居以外の住宅

- 共同住宅の一部を所有している場合、「住宅の延べ床面積」には建物全体の面積ではなく、専用部分のみの面積を記入してください。ただし、建物全体を所有している場合は、棟単位の住宅の総延べ床面積を記入してください。2棟以上所有している場合は、それぞれの棟について別々に記入してください。
- 昭和45年以前 (西暦1970年以前) に建築した場合は、年次の記入は不要です。

V 現住居に関する事項について

(13) 住居の構造

木造 (防火木造を除く)

防火木造

鉄骨・鉄筋コンクリート造

その他 (ブロック造、レンガ造など)

(14) 住居の延べ床面積

千 百 十 一

● 7 1 m<sup>2</sup>

● うち業務用面積

千 百 十 一

● 3 3 m<sup>2</sup>

(15) 住居の建て方

一戸建

共同住宅 (アパート、マンションなど)

● 3 階建の 3 階に居住

その他 (長屋建・テラスハウスを含む)

(16) 住居の所有関係

持ち家

親の名義の家や子の名義の家に、家賃を払わないで住んでいる場合も「持ち家」に記入してください

民営の賃貸住宅 (借間を含む)

都道府県・市区町村営賃貸住宅

都市再生機構・公社等の賃貸住宅

社宅・公務員住宅 (借上げの社宅を含む)

寮・寄宿舎

VI 現在住んでいる住居以外の住宅及び土地について

現住居以外の住宅又は土地について (20)から(21)欄に記入してください

(20) 現住居以外の住宅をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか (法人名義は除きます)

所有している  所有していない

建設時期	住宅の延べ床面積	住宅の構造
昭和45年以前 (1970年以前)	千 百 十 一	木造 (防火木造を除く)
昭和	● 1 1 7 5 m <sup>2</sup>	防火木造
平成	● 1 5 8 m <sup>2</sup>	鉄骨・鉄筋コンクリート造
西暦	● 1 7 年	鉄骨・鉄筋コンクリート造
2019年		鉄骨・鉄筋コンクリート造
昭和45年以前 (1970年以前)	千 百 十 一	木造 (防火木造を除く)
昭和	● 1 7 年	防火木造
平成	● 1 5 8 年	鉄骨・鉄筋コンクリート造
西暦	● 1 7 年	鉄骨・鉄筋コンクリート造
2019年		鉄骨・鉄筋コンクリート造
昭和45年以前 (1970年以前)	千 百 十 一	木造 (防火木造を除く)
昭和	● 1 7 年	防火木造
平成	● 1 5 8 年	鉄骨・鉄筋コンクリート造
西暦	● 1 7 年	鉄骨・鉄筋コンクリート造
2019年		鉄骨・鉄筋コンクリート造

(持ち家の世帯)

(17) 地代支払の有無

支払っていない  支払っている

● 現住居の敷地の地代について記入してください

(18) 住居の敷地面積

● 借地の場合も記入してください

● マンションなどの共同住宅や長屋建の場合は、むね全体の敷地ではなく、住んでいる住宅の敷地相当分 (区分所有分) について記入してください

● 坪を㎡に換算するときは3.3倍してください

千 百 十 一

● 6 3 m<sup>2</sup>

(19) 住居の建築時期

昭和45年以前 (1970年以前)

昭和

平成

西暦

● 2019年

● 1 8 年

● 西暦は、4桁で記入してください

二人以上の世帯及び「(12)単身世帯の形態」で「その他」を選択した単身世帯の方は、(20)及び(21)も記入してください。

「(12)単身世帯の形態」で「単身赴任・出稼ぎ」を選択した単身世帯の方は、(20)、(21)は記入せず、(22)を記入してください。

(17) 地代支払の有無

- 現住居の敷地の地代について記入してください。

(18) 住居の敷地面積

- 区分所有分がわからない場合は、建物全体の敷地面積 (駐車場や庭を含む) を総住宅数で割った数値を記入してください。
- 農家で敷地と畑などが地続きとなっている場合は、住宅部分のみの敷地面積を記入してください。

(19) 住居の建築時期

- 住居の半分以上を増改築した場合は、その増改築の時期を記入してください。

(21) 現居住地以外の土地

- 山林・原野・農地等を所有していて、その一部を住宅建設の目的で所有している場合、「敷地面積」には住宅を建てる目的で所有している部分のみの面積を記入してください。
- 賃貸用アパートなどを建てている敷地に、住人用の駐車場がある場合は、駐車場を含めた敷地面積を記入してください。

【所在地の記入例】

	都道府県	市郡等	区町村
特別区	東京都		新宿区
政令指定都市	神奈川県	横浜市	緑区
市 (上記以外の市)	北海道	帯広市	
郡部 (町村)	千葉県	山武郡	九十九里町

裏表紙に面積の単位換算早見表がありますので、ご活用ください。

I~II 世帯員について

III~IV 該当者がいる場合に記入する事項について

V~VI 住宅及び土地に関する事項について

VII 毎月の家賃支払額、返済額について

仕事の種類の記入のしかた